

## その他事業 5

### 「事業名」

次世代エコチルドレン推進事業

### 「事業の概要」

次世代を担う子どもたちに、環境学習や体験学習の場を提供し、環境問題について学び考える契機を与えることによって、地球環境や新エネルギーに対する関心を喚起し、環境問題を自分のこととして捉え、行動できる力を身に付けていただくため、子ども環境学習推進プロジェクトの一つとして、小学校児童クラブを対象に環境学習出前講座を実施した。

### 「協働の主体・役割分担」

| 協働の主体                                                                                              | 役割分担内容                                                                                           |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 備中県民局<br>環境学習センターアスエコ<br>早島町児童館・早島町<br>地球温暖化防止活動推進員<br>里庄町西小学校児童クラブ・里庄町<br>NPO 法人おかやまエネルギーの未来を考える会 | 事業の基本的枠組みの企画立案、事業の委託<br>事業内容の企画立案、事業受託<br>児童募集、事業協力<br>事業実施（講師 2 名）<br>児童募集、事業協力<br>事業実施（講師 6 名） |

### 「実施状況」

#### ①早島町児童館

- 1 日時 平成 24 年 7 月 30 日（月）
- 2 場所 早島町児童館
- 3 参加者 児童約 90 人
- 4 内容

地球温暖化防止活動推進員の講師 2 名により、環境クイズやエネルギー体験（参加型）を実施した。各学年毎に手回し発電機や自転車発電による発電体験や、ソーラークッカーで太陽光エネルギーのみでホットケーキを焼く体験をおこなった。これらの体験から普段使用している電気や、新エネルギー（二酸化炭素を排出しないクリーンエネルギー）についても関心をもってもらい、省エネの大切さについて楽しみながら学習した。





## ②里庄町西小学校児童クラブ

- 1 日 時 平成24年8月10日（金）
- 2 場 所 里庄町西小学校児童クラブ
- 3 参加者 児童 64人
- 4 内 容

NPO 法人おかやまエネルギーの未来の講師6名により、新エネルギー体験（参加型）を実施した。各学年毎に手回し発電機や自転車発電による発電体験や、ソーラークッカーでの調理体験、風力発電や水力発電の模型を使った新エネルギーの仕組み等も学習した。また、プロジェクターで地球温暖化や省エネ方法についても楽しみながら学習し、自ら実践することの大切さについて学習した。



## “ 成果・効果 ”

- 1 町役場や小学校へ環境学習センターアスエコ・NPO 法人・地球温暖化防止活動推進員等、環境学習出前講座を実施している各種団体等があることを周知できた。
- 2 参加児童に対して、身の回りの環境について各種体験を通して省エネルギーの大切さや、新エネルギー等に関して学習することができ、環境保全に対する意欲を高めることができた。
- 3 環境関係団体や各種学校、市民団体などの力を結集して、協働による環境学習出前講座を実施することができた。

## “ 来年度以降に向けての展開 ”

地球環境や新エネルギーをテーマにした体験型の環境学習事業は引続き来年度も実施する。

## その他事業 6

### " 事業名 "

びっちゅう環境フェア

### " 事業の概要 "

6月の環境月間に合わせ、広く一般の県民を対象に、地域における環境問題について一層の理解と認識を深め、環境保全意識の高揚と積極的取組を促進することを目的として、「びっちゅう環境フェア～楽しもうエコライフ・考えよう地球の未来～」を三井アウトレットパーク倉敷において開催した。

備中県民局管内の環境関係団体の他、各種学校、市民グループ等のあわせて15団体が参加し、ステージイベントやワークショップにおいて、それぞれの特色を活かした出し物やブース展開を行った。

県民局及び三井アウトレットパーク倉敷のホームページへの告知掲載、近隣の幼稚園・小学校、コンビニエンスストアへのチラシ配布、当日の場内放送等による広報の効果により、倉敷市内外から多くの集客が得られた。

### " 協働の主体・役割分担 "

| 協働の主体                                                                                                                                                                | 役割分担内容                                                    |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|
| <b>&lt;実行委員会構成員&gt;</b><br>備中県民局<br>岡山西温暖化対策地域協議会<br>公益財団法人 水島地域環境再生財団<br>倉敷・総社温暖化対策協議会                                                                              | 全体調整、事務局<br>開催支援、出展<br>〃<br>〃                             |
| <b>&lt;ステージイベント&gt;</b><br>キレイニスルンジャー<br>～風の紙芝居師～たけちゃん☆<br>公益財団法人 水島地域環境再生財団<br>倉敷・総社温暖化対策協議会<br>学校法人ノートルダム清心学園 清心女子高等学校<br>日本気象予報士会岡山支部<br>夢 Koi キッズチーム<br>～祈～倉敷輝き隊 | 寸劇<br>紙芝居<br>環境クイズ<br>〃<br>科学実験<br>〃<br>アトラクション（ダンス）<br>〃 |
| <b>&lt;ワークショップ&gt;</b><br>倉敷市一般廃棄物対策課、おかやまコープ、倉敷市立短期大学保育学科、児島地区消費生活学級、岡山西温暖化対策地域協議会、倉敷・総社温暖化対策協議会、環境学習センター「アスエコ」                                                     | 出展                                                        |
| <b>&lt;ポスター・チラシ&gt;</b><br>岡山県立大学デザイン学部                                                                                                                              | デザイン委託                                                    |



## (2) ワークショップ

古新聞や古雑誌、ペットボトルといった廃棄素材や不用な布や資材を用いて、親子で参加できるワークショップを開催し、楽しみながら身の回りの資源の有効活用について学んでもらう機会を提供した。

- ・マイ箸、はし袋作り
- ・廃棄ジーンズで小物作り
- ・古雑誌を使用したコサージュ作り
- ・牛乳パックで紙すき体験
- ・牛乳パック工作
- ・エコオセロ作り、エコぬりえ
- ・不用タイルでヘアピン作り
- ・マイバッグ作り
- ・新聞エコバッグ作り
- ・自転車発電体験



## (3) 展示

家庭や街中で出来る身近な取組に関する啓発パネルの展示やパンフレットの配布を行った。

## (4) その他

- ・「グリーンイベントガイドラインおかやま」に基づき実施した。
- ・カーボンオフセットを目的として、グリーン電力を購入した。
- ・交通の便を勘案して会場を選定し、公共交通機関の利用を呼びかけた。
- ・観光パンフレットを配布した。

" 成果・効果 "

- 1 開店後間もない話題の商業施設を会場にしたことにより、買い物や観光目的の来場者にもイベントに参加してもらうことができ、例年より多くの集客を得ることが出来た。
- 2 親子で参加することで、身の回りの環境について親子で一緒に考える機会を提供でき、併せて保全活動に対する意欲を高めることができた。
- 3 日頃何気なく廃棄している素材を使って、日常生活で使用するものを手作りすることで資源の有効活用についての意識付けやライフスタイルを見直すきっかけを提供できた。
- 4 環境関係団体や各種学校、市民団体など多方面の力を結集して、協働によるイベントを実施することができた。

" 来年度以降に向けての展開 "

来年度も6月の環境月間に合わせて、県民への啓発イベントを行う。

今年度は倉敷市中心部において備中県民局単独で実施したが、来年度は管内市町との合同開催や管内北部での開催も視野に入れて検討する。また、引続き、環境関係団体の他にも各種学校や市民団体等に参加を呼びかける。